

改めて見直す伝統的な組織活性化策 “競争原理”はどこまで“有効”か？

◆◆◆ 競争しない“風潮”が当たり前になる中で… ◆◆◆

◆本レポートの内容◆

- | | | |
|--------------------------|-------|-----|
| 【1】互いの競争心が乏しい時には従業員活力も弱い | …………… | 1 頁 |
| 【2】単純に見える競争でも導入が難しくなった現代 | …………… | 2 頁 |
| 【3】実際に競争原理導入を難しくしている要因は？ | …………… | 3 頁 |
| 【4】難しい中で競争の効用を生かした“ある提案” | …………… | 4 頁 |
| 【5】個人成績の単純比較が難しい業種や現場では… | …………… | 5 頁 |

“競争”は、確かに“本気”や“やる気”を呼び起こす効果的な方法の1つです。しかし業務が多様化し、相互“比較”が難しくなる中、徐々に“社内競争の場”が小さくなっているのではないのでしょうか。

そして、それが“組織活力低下の原因”だと指摘する人もいます。ただ、現在のような状況下で、シンプルな“競争原理”を組織に持ち込むことは可能なのでしょうか。それが、ここでのテーマです。

**山下社会保険労務士事務所
株式会社ビッグバン**

TEL : 087-868-9481

TEL : 087-840-0370

〒761-0301 香川県高松市林町 2217 番地 15
香川産業頭脳化センタービル 402 号

FAX : 087-840-0321

Mail : yamashita-m@bigbang-gr.com

URL : <http://www.bigbang-gr.com>



「経営あれこれ“元気”通信」Vol.109

本レポートは経営者および経営幹部の皆様のために作成されています！